

■ 薬剤師生涯研修プロバイダー評価基準チェックリスト ■

評価分野	評価の項目 (* : オプション項目)	評価の視点 (代表的な例)	
事業の目的・構想	目的と構想	事業の目的、構想等は妥当であるか	
事業の 実施母体 (組織・運営)	実施母体の性格	非営利、中立で、社会的に信頼されている組織であるか	
	母体運営のよりどころ	定款、寄付行為、規程等に基づいて、独立した運営がされているか	
	運営の責任体制	責任者・運営体制が明確になっているか	
	運営に関する広報	事業が適切に運営され、ホームページ等に内容が公開されているか	
事業の全体像 (方針、体制等)	企画決定機関	事業の企画・運営の決定を行なう委員会等が設けられているか	
	事業実施上の諸規定	事業の実施要領(実施規定)、細則等が定められており、内容が適切であるか	
	責任体制	事業の実施責任者は適任であるか、連絡先等が明確になっているか	
	研修・認定の対象	研修提供と単位付与は全ての薬剤師に対して門戸が開かれているか	
	共同運営*	事業を他の組織と共同で行うか、部分的に他の組織に委ねる場合はその妥当性	
	これまでの実績	研修の提供、単位の付与、研修認定等に関する実績は適切であるか。	
	事業内容の特徴*	事業内容に何らかの特徴があるか	
	地域的な特徴*	地域的に見た存在価値等、特徴があるか	
	人的配置	事業活動の担当者、事務取扱者等の数、配置は妥当であるか	
	財政状況	事業継続について財政的に不安はないか	
	研修制度の 実施内容	研修の形態	提供する研修の形態・方法は適切であるか
研修課題、講師の選定		研修課題、講師(指導者)の選定方法、選定結果が適切であるか	
研修の事前評価体制		単位を付与するすべての研修について事前評価の体制があるか	
研修プログラム		一定の構想のもと、ある程度の長期計画が設定されているか	
プログラムの質		研修の質は標準の水準をクリアしているか	
受講者への付与単位		研修内容(種類、時間)と付与単位の関係は妥当であるか	
複数水準の設定*		レベルの異なるいくつかの研修が提供されているか	
研修の事後評価体制		研修内容の事後評価が行なわれ、研修計画にフィードバックされているか	
受講経費		受講料は適切であるか	
習得度評価		受講者の習得度評価が何らかの方法で行われているか	
受講法、プログラムの広報		研修の受講法、プログラムの広報が事前に十分なされているか	
学習到達目標		研修受講による到達目標が示されているか	
試験・試問等(習得度等)*		受講者に試験、試問等が行なわれているか	
受講者の意見聴取		研修に対する受講者の感想、クレーム等を把握する方法が明示されているか	
テキスト、教材等		研修用のテキスト等、適切な教材が準備され使用されているか	
研修の実施場所・環境条件		研修に使用する場所、環境、設備等は適切であるか	
継続学習の推進*		生涯研修の習慣づけのための方策がとられているか	
認定制度の 実施内容		認定証の申請手順	認定証の申請手順が明示されているか
		認定の適否評価体制	認定の適否を判定するシステムは適切であるか
		認定の条件(単位取得基準)	認定取得に必要な単位数の規定は妥当であるか
	認定条件(付帯学習)*	特定の学習課題についての単位取得を認定条件としているか	
	他プロバイダーの単位の取扱い	他の研修プロバイダーから取得した単位の取扱いが示されているか	
	受講記録の方法	取得単位の記録法(記録簿、手帖、集計票等)が明示されているか	
	単位以外の認定条件	認定取得に特定団体への加入、特定団体の与える資格等を要求していないか	
	認定条件(試験・試問)*	認定の条件として試験、試問が課せられているか	
	認定等に関する経費	認定および更新のための経費は妥当であるか	
	更新の規定	認定の更新に関する妥当な規定が定められているか	
	認定取消し条件	認定の取消し条件が明示されているか	
	個人情報の管理	認定証取得者の記録(個人情報の管理等)が適正になされているか	